

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成30年5月27日（日） 14時～16時
- 開催場所 我孫子北近隣センター（並木館）
- 参加者 34名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長
増田環境経済部長、古谷建設部長、伊藤都市部長、他管理職14名
- 懇談要旨

市 民：指定管理者制度についてですが、我孫子市では体育施設など導入実績がありますが、近隣センターへの導入はないのでしょうか。私どもまちづくり協議会で運営委託を受けて管理運営をしておりますが、高齢化が進んで参加者が減って町会を離脱する人もいます、この先やっていけるのか心配しています。我孫子市ではどのように考えているのか教えてほしい。

総務部長：我孫子市も指針を持っております。制度の導入は積極的に図っております。近隣センターも導入できないわけではないですが、各地域に根ざした施設でするので各地域のまちづくり協議会の皆さんが主体にという事が経緯にあったと思います。

市 長：近隣センターだけが指定管理者制度を導入しないということはありません。ただ、地域のコミュニティをどうとっていくか、また、考えていくか検討する必要があるのかなと思います。コミュニティと管理運営を切り離して考えていくことも不可能ではないです。持ち帰って検討したいと思います。

市 民：水の館はリニューアルオープンから丸1年になります。直売所やレストランなど市民皆で盛り上げたいと思います。

5月23日に、議員定数削減の公聴会がありました。24人から22人に削減する3名、減らすべきでないが7名、ちょっと偏った意見会であったと思います。

市 長：6月でリニューアルしてから1年になります。県が運営していた時より約

5倍程度の入館者を迎い入れることができました。鳥の博物館と一体に賑わいづくりをしていきたいと思えます。

議員定数につきましては、私から議会に提案することもできますが、今の意見を議会に伝えさせていただきます。

市 民：白山跨線橋は通学路であります。かなり老朽化もしています。2年ほど前から跨線橋を延長する話でしたが、計画はどのようなのか。

もう一点は、マンションと64戸の戸建住宅ができます。通学路となる356号の歩道が非常に狭く危険ですが対応策はあるのか。

災害無線についてですが、改善したと言いますが私どものところでは、聞き取りにくいです。

市 長：現在の白山跨線橋を延長して、356号をまたぎ信号を設置するという考えは2年前まではありました。県や警察が中心となり協議をしてきました。しかし残念ながら地権者の同意がいただけませんので、延長工事は進みませんが、老朽化している、既存の跨線橋の改修についてJRと協議して先に進めていくことにしています。

NECの社宅跡地に建設しているマンションは約260戸、戸建は63戸を予定、来春から入居が始まると聞いています。実際にご指摘の歩道は狭いです。歩道を拡幅するためにはセットバックしてもらわなければなりません、なかなか理解・協力が得られません。歩道にガードパイプを設置することや、もう一か所ある跨線橋を利用するなど、入居者の状況を見ながら教育委員会と協議し、通学路の安全について検討する必要があると思っています。もう少しお時間をいただきたいと思えます。

防災無線につきましては、毎年ご意見をいただいております。今の住宅は防音がしっかりしている事や風雨の状況によって聞きづらくなっています。放送内容と同じ内容をフリーダイヤル0120-031-676で聞くことができますので、ぜひこちらをご利用ください。

市 民：356号の歩道へのガードパイプの設置は市の方で県に要望してもらえる

のか。現在利用している子供たちのためにもぜひお願いします。

市長：第2小学校などガードパイプで対応している場所もあります。何人増えるかわからない状況で県に要望はすぐにできませんが、検討させてください。

市民：子供の行き帰りにボランティアの声掛けは安心できます。跨線橋の下にも配置してほしいです。また、356号の歩道の段差を改修してほしい。栄の踏切を安全に渡れるよう改修できないでしょうか。

市長：356号の寿地区のことだと思いますが、歩道の高さについては住んでいる人からも要望が出てきています。しかし、現状として、今の高さに合わせて各家の出入り口となっています。意見の取りまとめなど自治会にお願いしたこともありましたが、調整がつかずまとまりませんでした。

見守りにつきましては、皆さんに協力をお願いしているところですが、なかなか難しい状況です。現在は、PTAが小学生の登下校時に、商店の方や高齢者の皆さんに家の前だけでもと、お願いしている状況です。

栄の踏切については、他の踏切でもJRと協議をしておりますが、JR側では、踏切を少なくしていく中での要望は、かなり難しいです。維持管理は県の道路となりますので、県と協議となります。

市民：まちづくり協議会で事業をしていて気が付いたことですが、駅近くのマンションなどで事業をすると子供がたくさん集まるが、そうでない場所では子供の集まりが少ない。

我孫子市にはどの位の人が流入してきているのか。また、子供が集まって来るような施策があるのか、お尋ねします。

企画財政部長：我孫子市も人口は減少傾向です。出生数より死亡者が上まわる自然減となっています。転入・転出者は、ほぼ同程度で推移しています。

我孫子市は、近隣市と比べて大きな開発もなく、安定した状況ですので、大きな人口増にはなりません。我孫子市ではシティプロモーションを実施しています。

こういったPR事業が、どの程度転入者増に寄与しているのか検証して、今後の事業展開を考えたいと思っています。

市長：子育て施策はさまざま実施してきております。昨年、我孫子で生まれた子供が770人、亡くなった方が1,270人で500人の人口減となっています。転入・転出の比較では、300人程度の増でした。トータルでは、200人の減少傾向となります。

市内では、新木駅南側にスーパーが開店しました、これにより、同地区の不動産にも動きが多少出てきました。

イベントに子供たちが集まりにくいという点では、実際に交通の便がさほど良くない湖北地区公民館やアビスタなどに行ってみますと、たくさんの子供たちがいます。これは、実施する日時や他のイベント等とバッティングしない、ターゲットを絞るなど、工夫次第で集まるのではないかと思います。

市民：我孫子駅北口の変電所前の道路についてですが、行き止まりとなっていますが、表示がありません。先日、道路課に依頼しましたが、早めの表示をお願いします。

建設部長：道路課長に確認して、表示するよう指示いたします。

道路課長：規制看板は警察ですが、案内看板は市で設置しております。現在看板を作成中です、もう少し時間がかかりますが、設置いたします。

市民：本日、午前中ごみゼロ運動を実施してきました、地区の中では集めたゴミの多くが落ち葉などで、60袋ほどありました。昨年と同様に、電話をして収集してもらおうとしましたが、今回は、回収ステーションに集めておいて、収集日に回収します。とのことですのですぐに回収しないで置いとくといった状態です。昨年と同様にすぐに収集してもらえませんか。

環境経済部長：枯葉については放射能の影響がありまして、可燃ごみとは別に収集し

ております。今回、ごみゼロ運動で集めていただいた物を回収しないというのはおかしいことと思います、場所を教えてください対応いたします。

市長：ごみゼロ運動は、皆様のご協力をいただいている事業です。放射能の関係でしばらくは燃えるごみと分けていただく必要があります。必ず収集しますので、後で場所を教えてください。

市民：人口減少が進んでいく中、最近では都市間競争が進んできていて、住みやすい環境づくりなど様々な施策が立てられています。

我孫子市を住みやすい・犯罪の少ない街にしていきたい。

私たちは、地域会議などでも話し合い提案させていただきたいと思います。将来計画は、10年・20年先を見越して進めていただきたいと思います。

市長：我孫子市では昨年で自然減と転出入で200人程度の人口減でした。

当市は、歴史も古いことから道も狭く、今の車社会に適応していない道路はまだあります。まずは幹線道路から整備を進めています。当然そのためには、周辺の住民の皆さんの協力が必要となってきます。インフラ整備を進めながら、福祉施策とバランスよく進めていかないと成り立たないと思っています。

人口減少だけでなく、高齢化も進んでおります。数年後には、市の基本計画を見直す予定です。今後も皆様からご意見いただければと思います。

市民：里道の整備・管理について質問します。

個人の敷地の中にある里道の払い下げや購入するための手続きについてと、草が生えているような箇所での狭い里道の管理整備についての質問です。

建設部長：里道＝赤道の管理は市で行っています。詳しくは道路課長から説明いたします。具体的な場所があればこの後、教えてください。

道路課長：赤道のことと理解しています。法定外公共物として市の管理となっています。市に申請していただき審査した上で払い下げることも可能となっております。

市 民：お願いします。手賀沼公園・久寺家線の整備を早くしてほしい。

市 長：整備には国の補助金を充てておりますが、3回目最後の補助金の延長をしてもらっています。現在は、最後の調整を地権者としています。目標は今年度いっばいで土地を取得させていただき来年度以降、工事して供用開始という予定です。